

決 算 報 告 書

第 16 期

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

抗菌美装株式会社

長野県飯田市中村 1 7 5 8 - 2

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		買掛金	2,982,986
現金	465,845	未払金	16,086
小口現金	46,793	未払金(ネットポイント)	2,922,228
普通預金 ジャパンネット銀行	1,604,836	預り金(源泉所得税)	64,868
普通預金 みなみ信州農協	238,400	預り敷金(ハブサ吉沢)	2,268,000
普通預金 飯田信金 伊賀良	642,633	未払法人税等	71,000
普通預金 八十二銀行	265,834	未払消費税	△844,500
普通預金 八十二銀行(ネット)	57,052	仮受消費税	6,270,644
普通預金 長野県信用組合	2,424,674	流動負債計	13,751,312
普通預金 アルプス中央信用金庫	280,091	【固定負債】	
普通預金 長野銀行	320,581	長期借入金(鈴木社長)	1,402,241
普通預金 郵便局	383,669	長期借入金(八十二銀行)	1,700,000
定期積金 八十二銀行	2,091,028	長期借入金(長野県信用組合)	17,356,000
定期積金 長野県信用組合	820,000	長期借入金(日本政策金融公庫)	18,136,000
現金・預金計	9,641,436	固定負債計	38,594,241
(売上債権)		負債の部合計	52,345,553
売掛金	8,746,810	資 本 の 部	
売上債権計	8,746,810	【資本金】	
(棚卸資産)		資本金	10,000,000
商品	1,582,847	資本金計	10,000,000
棚卸資産計	1,582,847	【剰余金(欠損金)】	
(その他流動資産)		当期未処分利益	△9,787,455
仮払金	251,254	(うち当期利益)	△2,341,657
仮払消費税	4,267,786	剰余金計	△9,787,455
その他流動資産計	4,519,040	資本の部合計	212,545
流動資産合計	24,490,133		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	10,365,708		
建物付属設備	1,492,861		
機械及び装置	886,602		
車両運搬具	3,122,673		
工具器具備品	855,070		
減価償却累計額	3,000,000		
土地	10,033,178		
期末償却予定額	△3,000,000		
有形固定資産計	26,756,092		
(投資等)			
敷金(ハブサ土地)	699,600		
保険積立金	612,273		
投資等計	1,311,873		
固定資産合計	28,067,965		

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部合計	52,558,098	負債・資本の部合計	52,558,098

有形固定資産の減価償却累計	0	受取手形割引高	0
手形裏書譲渡高	0	保証債務	0

法定準備金を超過する開業、開発費及び試験研究費の額
 取締役(監査役)との取引による金銭債権
 取締役(監査役)との取引による金銭債務

損 益 計 算 書

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

(単位：円)

《経常損益の部》

[営業損益の部]

【売上高】

抗菌・美装売上	40,457,688
南信州.com売上	1,932,854
ネット売上	19,209,758
不動産売上	15,688,812
保険売上	266,454
売上高 計	

77,555,566

【売上原価】

期首商品棚卸高	1,801,635
期首商品・製品棚卸高	1,801,635
抗菌・美装仕入	13,333,230
ネット仕入	10,118,022
当期商品仕入高	23,451,252
合 計	25,252,887
期末商品棚卸高	△1,582,847
期末商品・製品棚卸高	△1,582,847

売上原価 計 23,670,040

売上総利益 53,885,526

【販売費一般管理費】

販売費・一般管理費計	53,613,672
------------	------------

営業利益 271,854

[営業外損益の部]

【営業外収益】

受取 利息	2,213
受取配当金	30
雑 収 入	711,937

営業外収益 計 714,180

【営業外費用】

支払 利息	1,027,004
-------	-----------

営業外費用 計 1,027,004

経常利益 △40,970

《特別損益の部》

【特別利益】

固定資産売却益	329,999
---------	---------

特別利益 計 329,999

【特別損失】

固定資産売却損	470,442
---------	---------

特別損失 研修費	2,089,244
----------	-----------

特別損失 計 2,559,686

税引前当期利益(損失) △2,270,657

法人税及び住民税 71,000

当期 利益 (損失) △2,341,657

損益計算書

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

(単位：円)

前期繰越利益(損失)	<u>△7,445,798</u>
当期末処分利益	<u>△9,787,455</u>

1株当たりの利益(損失) 0.00

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

(単位：円)

給料 手当	17,570,516
役員 報酬	3,000,000
法定福利費	2,095,188
福利厚生費	746,455
通 信 費	1,237,529
荷造 運賃	1,476,222
水道光熱費	1,760,811
旅費交通費	161,724
広告宣伝費	358,186
接待交際費	181,824
事務用消耗品費	161,748
備品消耗品費	6,214,192
新聞図書費	59,421
修 繕 費	3,195,192
地代 家賃	3,999,323
車両燃料費	1,379,371
保 険 料	1,295,620
租税 公課	1,563,755
諸 会 費	246,091
リース 料	194,817
支払手数料	1,061,212
減価償却費	3,629,268
管理諸費	4,982
雑 費	2,020,225
販売費・一般管理費計	53,613,672

平成27年5月末日

各従業員
お取引先の皆様へ

平成27年3月期（第16期）決算のご報告

抗菌美装株式会社
代表取締役 鈴木詠里子

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
別紙の通り、第16期の決算がまとまりましたのでご報告申し上げます。

<はじめに・・・当期の主な動き>

■新社屋への移転

当社と温泉の素.com(株)の2社で飯田市中村1758-2にて事業を行っていましたが、手狭になってきていました。車で5分ぐらいの場所に競売物件（特別入札）があることを知り、両社協議の上、取得移転しました。（飯田市中村6-3へ移転）

建物の取得は競売物件の都合上1社（温泉の素.com）で取得し、ゴミなどの片づけ、清掃・塗装他を当社で行うこととし、ほぼ同額の出費で両社移転することとなりました。移転先は、旧）アイスクリーム工場である。

平成26年6月24日、25日に移転しました。

支出概要

<消耗品・修繕費>

電材29万、上下水道資材60万、空調33万、塗料33万、金物39万、警備5万、浴槽9万、オフィス家具25万、作業工具10万、ブラインド13万、家電13万、防犯カメラ18万、ドア19万、コンクリ17万、クロス8万、焼却炉7万、間仕切り30万、板金40万、グレーチング7万、クレーン3万、排気43万、土処分65万、解体処分費58万、パーテーション処分13万、浄化槽内清掃9万 看板33万
他

計 639 万

<償却資産>

電話機 123 万

計 123 万

<その他人件費>

ゴミ処分～引っ越しまでの人件費

延べ160人×@7000 =102万円

アルバイト・手伝い

28万円

計 130 万

合計 892 万

<2tトラック購入>

4月 日野リフト付き 新車

475 万

■特別損失

鈴木健太郎を大阪市内の日本分析化学専門学校に通学させていたが、平成 27 年 3 月に無事卒業することができた。毎週土日に通ってもらったわけだが、昨年同様、通学に要した学費のほか費用を特別損失として計上した。次年度は発生しない。この 2 年間において、化学分析技能士や環境管理士、酸欠・硫化水素危険、その他資格も取得され、今後の礎ができたものと思われる。

補足として、社長の鈴木詠里子も同様に温泉の素.com の社員として通学させていたが同様に資格を取得し、卒業することができた。

化学の基礎を学んだものが、グループ会社内に 3 名となったことで、より安定的に、より効率的に事業を行っていくことができるものと考えている。

■損益計算書 合計売上 7755 万円 (−339 万円=−4.2%)

【抗菌売上】売上 4045 万円 (−222 万円=−5.0%)

内訳：メンテナンス契約 2435 万 (+134)、単発清掃 209 万円 (+4)、工事衛生 672 万円 (−198)、塩素等販売 728 万円 (−160)。

メンテナンス契約先数は横ばいである。

前年度の工事衛生には、食品工場、阿智村源泉管洗浄、恵那市源泉管の洗浄等 470 万円の工事が含まれていた。

従前からのとおり、毒物劇物の製造販売許可を得ているが、全く製造販売していない。

【地域貢献事業売上】売上 193 万円 (+25 万円=+14.8%)

地域情報サイト「南信州.com」として 8 期目である。

正直に申し上げ厳しい。大きな成長の見込みはない。継続あるのみ。

ネット販売部門を作ったので、会計を分けた。

【ネット販売部門】 1920 万円 (−87 万円)

塩素.jp 1567 万円 (−148 万円)

特産物市場 86 万円 (−3 万円)

温泉の素.com 265 万円 (+62 万円)

小分け.com 2 万円 (+2 万円)

【損害保険売上】売上 26 万円 (−14 万円=−35.0%)

仕入れはなく、温泉の素電話営業スタッフの兼務であるので人件費は部門に発生しない。売上げ=純利益とみなしてよい。

【不動産売上】売上 1568 万円 (−76 万円=−4.6%)

【総論】

・総じて横ばいである。

■貸借対照表

<資産の部>

【流動資産】2449万円(+523万円)

流動資産計は、523万円の増加である。現金964万円(+324万円)、売掛金874万円(-187万円)、商品158万円(-21万円)、前払費用0万円(-20万円)。

売掛金の中には、自動車钣金業を行っていた際に掛売りしたが未入金となっている額が、昨年度1社合計で36.8万円あったが、残り23.3万円となった。自動車修理業を営んでいるので、今後も車検を行っていただいて相殺回収するつもりである。

【固定資産】2806万円(+182万円)

建物1036万円(-67万円)、機械装置88万円(-44万円)、車両運搬具312万円(+276万円)、工具器具備品85万円(-64万円)、土地1003万円(±0)建物付属設備149万円(+77万円)、営業権0万円(-35万円)、敷金69万円(±0)、保険積立金61万円(+41万円)

<負債の部>

【流動負債】1375万円(+400万円)

買掛金298万円(-27万円)、未払金1万円(+1万円)、ネットポイント未払金292万円(±0万円)、所得税預り金6万円(-13万円)、未払法人税7万円(±0)未払消費税-84万円(-187万円)、仮受消費税627万円(+627万円)、預り敷金226万円(±0)。

【固定負債】3859万円(+540万円)

内訳：長期借入金3859万円(+540万円)

八十二銀行170+長野県信用組合1735+日本政策金融公庫1813+社長借入140。

今期は日野自動車より2tトラックを購入。

<純資産の部>

【資本金】1000万円

増減なし。

【剰余金】-978万円(-234万円)

累積赤字978万円。

【第16期の重点施策】

昨年より消費税の影響を心配してきたが、このレポート作成時（6月初旬）では、当社にとっては、全く影響が出ていない。一方で、原油価格の上昇による化成品の仕入が高くなる恐れが懸念される。

【財務面】

事務所移転やトラック購入の為、資金調達する必要があり、毎月の支払額を増やさず返済できるように2行にお願いし、下記のような返済計画となった。尚、流動資産、流動負債がそれぞれ増加しているが、借受消費税と仮払消費税をそれぞれ計上したからである。

<借入内訳>

日本政策金融公庫（26年4月借り換え）

既存2000万借入れし、平成30年4月まで月22万返済 残額1012万

↓（借り換え）

1500万+500万=2000万借入れ・・・約1000万増えた

内訳

1500万 月16万返済 平成34年4月まで

500万 月5.4万返済 平成34年3月まで

長野県信用組合（26年4月借り換え）

既存3000万借入れし、平成30年10月まで月35.7万返済。残1929万

↓（借り換え）

1960万借入れし、月額20.4万返済 平成34年4月まで

八十二銀行（変更なし）

既存300万借入れし、平成30年1月まで月5万返済。27年03月残170万

今のところ順調に返済できている。また、安定した家賃収入もあるので、返済計画通りに進むものと考えている。（平成27年6月末現在、毎月46.8万円の返済）

【総括】

新たな成長分野が見えていない。模索中である。グループ会社である温泉の素.com(株)が売上面で当社を抜いた。当社も負けず、あらたな事業領域を見つけていきたいと思っているが、消費税10%が2年後に迫る中で、今は特に投資せず既存の事業基盤を固めることが大事であると考えている。

ここ10年ぐらいを見ると、ずっと成長を続けてきたが、今回初めて売り上げが下がった。（今までにも下がったことはあったが、温泉の素事業部の移管や赤字事業廃止によるもの）下がらないようにどうすればよいか迷うところではあるが、今は何もしない。